

事業者さま 各位



小規模事業者持続化補助金を活用した、中国(上海)人気飲食店での 北海道産ワイン ペアリング及びクラウドECによる海外販路拡大事業ご説明会のご案内

国内市場の縮小が続く中、海外への販路開拓は将来への「必須項目」と言えます。

今回、世界最大マーケットである中国において、従来の伝統的販路開拓とは違い、中国(上海)の**人気飲食店へ商品を導入**し、料理と併せ利用客に**直接飲んで**いただく、また、クラウドEC(WeChat)を活用し**クラウドECでの販売及び様々なアプローチ**で、北海道産ワインの販路開拓及び売上に貢献出来る取り組みとなります。

中国で結果も出ていることから是非当事業を皆様にご案内したく、中国の専門家講師を交えて事業説明会(オンライン)を実施します。 **※補助金申請～採択時に実施となります。**
将来に繋がる当事業、ご多忙の中大変恐縮ではございますが、ご参加願えれば幸いです。

市場

- ✓中国全体で人口約14億 上海は約2400万人 上海市内面積は群馬県とほぼ同じ
- ✓世界中の様々な「モノ」が揃う。上海市内総生産は約85兆円。日本国内は約550兆円
- ✓現在景気は低迷中だが、嗜好品への消費意欲は旺盛

現状

- ✓これまで様々な日本企業や事業者が中国販路開拓に挑戦してきた
- ✓中国の商社(代理店)、バイヤー、小売店(百貨店、スーパー等)、伝統的開拓手法が中心であった
- ✓結果、継続中且つ「中長期的な展開」は、非常に少ない

ECとクラウドECの違い

- ✓中国の販路においてECは、最も有力で有効な手段であるのは間違いない(中国EC市場は世界の約50%)
- ✓ECサイトの乱立、ダンピング合戦、ランニングコスト、手数料。大手でなければ継続化は厳しい
- ✓クラウドECは低額、データ集積が可能。消費者へ「待ち」ではなく「攻める」展開が出来る

事業概要

- ✓「ワイン」の商品特性と魅力を最大限引き出せる「起点」は**飲食店**である
- ✓飲食店とクラウドECの組み合わせは**最大のシナジー**であり、いま**最も有力な「販路」**である
- ✓且つ、中国市場に精通する**現地パートナー**との協業も必要不可欠である

次項をご覧ください

上海(中国)の飲食店(和食) 約200店舗と連携中

- 名称: 懐石料理 和粹
- 住所: 馬当路458号恒基・旭輝天地地下一層04号
- 営業時間: 11:30 ~
- 客単価: 1002元(約20000円)
- 備考: 海鮮を中心とした料理の評判が良いお店。コース料理のみ提供



※一例



事業説明・講師
渡邊 禄朗 氏

クラウドEC活用。既に大きな成果

※日本酒では既に成果が認められており、今回は北海道産ワインでの展開となります。



JETRO連携の会社と組みます。

中国・韓国		中国	JAPAN MALL
企業名等	企業名Saker RD 中国100%子会社：博冠（上海）貿易有限公司		
販売店・地域	日本、中国		
調達先産品	日本酒、焼酎、ワイン（日本産の産品）		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 資本金300万円、ベンチャー4人で96.3社からの出資獲得 ▶ 中国におけるEC販売、リストアップの店舗数約3000社 ▶ 自社のWeChat公式アカウントフォロー23万2000人、EC会員約1500人、504-580の記事投稿による、日本酒、日本文化、焼酎、酒類等を紹介 ▶ 自社の日本産に限定するWeChatに力を入れている理由として、13都府県、23の自治体と日本産約1000商品を販売、うち約100社と協業して、中国産酒類の日本産を多く取り扱う、提携している新発・優良産品取扱店舗は約150店（北京、上海、広州等） ▶ 飲食店員向けの研修、オンラインプラットフォーム稼働が試験的・イベントの色、毎月200名以上が参加する日本産酒類を関係、日本産を積極的に取り扱える環境、EC販売に力を入れている 		
取引条件	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 輸出に必要書類、インボイスの登録は必須 ▶ 原産、産地と日本産の産品取引 ▶ 商標登録済であることが望ましいが、無印でも取引可 ▶ JAN Codeがあることが望ましい（商品管理のため） ▶ デジタル原産地があることが望ましいが、無印でも取引可 ▶ オンライン販売に力を入れている ▶ 中国産酒類・イベントに協力可能な産品であることが望ましい 		

北京大学MBA修了。北京大学光華管理学院日本校友会理事。新潟出身。中国滞在歴9年。MBA卒業後、デジタル広告代理店の北京DACにおいて、化粧品、日本酒など小売業をメインにデジタルマーケティングに従事(資生堂、KOSE、EPSONなど)。2021年の日本政府予算で行われた中国日本酒プロモーションにも従事(合計3億円)、日本・中国における日本酒関連のネットワークを保有。日英中のトリリンガル。

●事業ご説明会日時: 2025年5月13日(火)17時、オンラインにて (中国とつながります、下記URLよりお入りください)
<https://zoom.us/j/92491283521?pwd=ATuA8sDpNd1ZoCwML5pEXhOP1E0mpl.1>

●お問い合わせ (株)DACホールディングス 担当:阿部 03-6895-1581 ✉ tabe@dac-hd.co.jp

※当日のご参加が難しい場合は、録画データをお送りいたします。メールでご連絡願います。

※採択時実施となりますが、事業申請時は中小企業・小規模事業者であること、最低参加社数が必要であること(最大12社想定)等ございます。

※基本、事業期間内は補助金で行います。ご負担依頼は中国へのサンプル品(2~4本)、EMS発送費、輸出時の国内指定港までの発送費となります。

皆さまのご参加をお待ち申し上げます。よろしくお願いいたします。